



モグ太くん

「モグ太」です。

今回は、センターの事務所、センター所長、安全活動について紹介します。

【幌延深地層研究センターの事務所】

幌延深地層研究センター（以下、センター）の事務所は、「研究管理棟」と呼んでおり、事務室や会議室の他、図書室、書庫、計算機室、医務室、休憩室などがあります。研究管理棟は周辺環境に馴染むよう、レンガや木材を多く使用しています。正面玄関から入ると吹き抜けのロビーがあり、また、各事務室と廊下との仕切りはガラスを多く使っていて解放感があります。内装は木目と白を基調とした温かみのある色合いで、地下での研究作業や細かな事務作業、上司からのプレッシャーに追われる従業員には、多少癒しの効果があったり、無かったり。築19年（平成18年竣工）を感じさせないのも木目の効果かもしれません。

研究管理棟から渡り廊下を抜けると「試験棟」があります。試験棟は、実験室や作業場、倉庫などとして使用しています。倉庫は研究で使う装置・機材・備品などを保管していて、「コア倉庫」という2階吹き抜けの一番大きな部屋には、約1万本の「ボーリングコア」を保管しています。ボーリングコアは、地下深くから岩盤を棒状にくり抜いて採取したものです。中には深さ1000mから採取したボーリングコアもあり、非常に貴重なものです。

トナカイ観光牧場の近くにひっそりと佇んでいますが、実は非常に貴重な試料などもある世界でも珍しい研究施設で、従業員にとっては、いい

時も悪い時も吹雪の日も苦楽を分かち合っている事務所ですから、これからも大切に使い続けたいと思います。

【幌延深地層研究センター所長】

そんな事務所で働く従業員のボス・責任者は、佐藤稔紀（さとうとしのり）所長です。センター内でも大柄な



【センター事務所】



【研究管理棟ロビー】



【コア倉庫】



【所長室での佐藤所長】